



小中学校の給食費は国の責任で無償に 全国で4割の自治体で給食費無償化実施



発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
FAX: 824-7760
No.3495

寝屋川市会議員
中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市会議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市会議員

西田まさみ
石津中町 30-3
090-9713-3588
前寝屋川市会議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

学校給食費の無償化を求める意見書 6月市議会で採択される

6月市議会本会議の最終日7月10日、新日本婦人の会などから要望があった、学校給食費の無償化を求める意見書が全会一致で採択されました。

本市では、2023

年度から中学校の給食費は無償化となつていきます。小学校はコロナ禍の中、保護者負担の軽減として無償化となつていましたが、今は保護者負担となつていま

す。
1、1か月の給食費は、
2、2年生3600円、
3、4年生3700円、
5、6年生3800円
です。

これは家庭の教育費の中で大きな割合を占め、負担になっていま

す。

小学生2人がいる保護者からは、「給食費の出費が大きい、中学校のように、小学校の給食費も無償化してほしい」との声が寄せられています。

市だけで小中学校の給食費の無償化を実施するには、財政的に厳しいものがあり、すぐに実施することは困難な状況です。

本来ならば、義務教育である小中学校の給食費は国によって無償

化されるべきです。

国は、昨年6月、「子育て未来戦略方針」を閣議決定し、給食無償化に向けた課題整理のため、文科省が全国1794の教育委員会に対して実態調査を行いました。

その結果2023年度、公立小中学校などの給食費について、全国の自治体の約3割(547自治体)で「完全無償化」、小学校のみなど「二部実施」の約1割(175自治

学校給食費の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第1条に「食育の推進」がその役割と目的として規定されており、教育活動の一環として教科学習と共に学校教育の大きな柱となっている。

学校給食の経費負担は、実施に必要な施設及び設備に要する経費と、その運営に要する経費は設置者の負担と位置付けられているが、食材費は保護者の負担となっている。

この、保護者負担である学校給食費は、年額にすると約5万円から6万円と保護者が学校に納める納付金の中で最も高額であることから、貧困対策はもとより、子育て支援・少子化対策として、小中学校の給食費を全額または一部補助する市町村も増えてきている。学校給食の持つ教育的効果に加え、子どもの貧困問題もあり、栄養バランスの取れたおいしい給食を、家庭の経済状況に関わらず提供することは、子どもの健やかな成長のため非常に重要である。

同時に、給食費無償化は、この間の物価の高騰等により、市町村財政を圧迫するなど解決すべき問題も多く、市町村独自での実施が困難である。

よって本市議会は、国及び政府に対してこうした状況に鑑み、財源の確保をはじめ国の責任において、全ての市町村が学校給食費の無償化を実施できるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2024年7月10日

寝屋川市議会

提出先
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣



新型コロナ第11波 早期診断・早期治療を

新型コロナの感染症が急増し第11波ともいわれる中で、高額なコロナ治療薬の処方断る患者や検査を受けない人が出ています。3月末でコロナ治療費の公費助成が全て打ち切られたことが原因です。重症化を防ぐためにも引き続き公費負担が必要と日本共産党は求めています。

市民の声を紹介します。

「コロナ陽性」検査結果にびっくり、早期診断・早期治療が重要ですね

7月中旬すぎ、のどの調子が悪く、耳鼻科を受診しました。医師からすすめられ、検査をうけると、「コロナ陽性」。びっくりしました。やむえず、予定を変更して、自宅療養。熱がなかったのですが、頭痛、耳鳴り、お腹の調子が悪くなるなど、今も体調がよくありません。

驚くのは、身近に感染した人が増えていることです。Aさんに電話すると、声がおかしく「コロナで休んでいる」との返事。Bさんに道で会うと、「コロナで休んでました」の返事。

マスクの着用と手洗い、人混みや換気の悪い場所を避ける。感染を疑われる症状があれば、医療機関を早期に受診し、検査を受けることが大事ですね。(市内在住60代)。

香里園駅前に公衆トイレの設置を 市に約570筆の署名を提出

香里園駅に公衆トイレの設置を訴える西田議員



6月市議会の一般質問で、西田議員が行った、香里園駅前に公衆トイレの設置を求める要望に対して、「市は、京阪電鉄、大阪府と公衆トイレについて協議を進めており、早急に結論を出していきたい」との答弁をうけ、香里園地域で、京阪香里園駅前に安心して利用できるトイレを設置することを求める要望署名の取り組みが始められ、

2週間で約570筆の署名が集まり、7月24日に市に提出されました。京阪香里園駅は多くの人が通勤・通学・買物等多くの人たちが利用し、重要な生活の拠点となっています。しかし、京阪電鉄の高架化事業に伴い、市民が安心して利用できるトイレがなくなりました。香里園駅前に公衆トイレがなく、近隣のスーパーなどのトイレを利用しているのが現状です。多くの人が利用している駅周辺では公衆トイレは誰にとっても必要不可欠なものです。地域では、要望署名を継続して行っており、たくさんの賛同の声を

届けていこうと取り組みが進められています。党市会議員団としても香里園駅前の公衆トイレ設置の早期実現をめざし、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



府営住宅入居者募集

募集期間：8月1日～8月15日
申し込み用紙は、日本共産党市委員会にあります。(八坂町15-35)
問い合わせは、市議会議員まで。

日本共産党と 万博・カジノを考える集い

とき：8月12日(月・祝)
午後2時

ばしょ：八坂公民館
(八坂町24-27)

講師：中山 直和さん
(大阪市をよくする会事務局次長)
・大阪・関西万博についてお話しします。

議員誌



西田
まさみ

寝屋川の街なかに、高齢者や障がいを持つ人、小さい子どもを連れた人などが、疲れた時腰を下ろし、ひと休みできるベンチを設置したいと、香里園に住む有志が集まり、「ベンチプロジェクト」という活動を始め1年が経ちました。

これまでに、香里園地域のバス停、お店の前、お地藏さんの前などに置かれたベンチや、ここにベンチがあったらいいなと思われる場所などをウォッチングしてきました。そして、それを「ベンチマップ」という地図にしました。

スーパー前の停留所にベンチは無く、花壇の縁石などにこしかけておられる高齢者の姿を見かけることがあります。そこで、スーパーにベンチを置いてもらえないかとお願いに行くことなども行ってきました。

箕面市では今後3年間で、市内に140基のベンチを設置する計画があるとのこと。寝屋川にも、誰もが安心して利用できるやさしいベンチを市内のあちこちに設置されることをめざし、これからも取り組みを続けていきます。